

JIS Z 2801 抗菌加工製品－抗菌性試験方法・抗菌効果

この規格は、繊維製品、光触媒抗菌加工製品を除く、プラスチック製品、金属製品、セラミック製品など抗菌加工を施した製品（中間製品を含む）の表面における細菌に対する抗菌性試験方法及び抗菌効果について規定したものです。

試験概要

- ・試験菌：黄色ぶどう球菌及び大腸菌の2菌種
- ・菌液：1/500 普通ブイヨン培地に試験菌を懸濁（ 10^5 /mL）
- ・試験片：5 cm×5 cm の検体（抗菌加工及び無加工）
- ・菌液の接種：試験片の表面に菌液を接種後、ポリエチレンフィルムを被せ密着
- ・試験片の培養：菌液を接種した試験片を 35 °C，相対湿度 90 %以上の条件で 24 時間培養
- ・生菌数測定：菌液接種直後（無加工のみ実施）及び 24 時間培養後の試験片 3 個（n=3）の生菌数を測定
- ・抗菌活性値(R)の算出： $R = U - A$

U：24 時間後の無加工試験片の生菌数の対数値

A：24 時間後の抗菌加工試験片の生菌数の対数値

価格（税別）

試験条件を変更することにより、料金は異なります。詳細についてはお問い合わせください。

無加工品もご提供いただく場合は、検体数に含めます。

菌種数 ^注	検体数	試験料金
1 菌種	1 検体	46,000 円
	2 検体	54,000 円
2 菌種	1 検体	78,000 円
	2 検体	94,000 円

注：JIS 規格では黄色ぶどう球菌と大腸菌の 2 菌種が規定されています。

検体必要量（2 菌種当たり）

大きさ 5 cm×5 cm，厚さ 1 cm 以下の水が染み込まない平らな板状のもの

（検体の形状が異なる場合はご相談下さい）

- ・抗菌加工品：12 枚以上
- ・無加工品^注：24 枚以上

注：無加工品が用意できない場合、ポリエチレンフィルム（弊財団で用意）を代用することも可能です。

納期（目安）

1～1.5 箇月

依頼状況や長期祝日の影響で変動する場合がございますので、ご依頼のタイミングで改めてご確認ください。

JNLA に関するご意見・お問い合わせのある方は[お問い合わせフォーム](https://www.jfrl.or.jp)にご記入の上、ご遠慮なくお寄せください。